

闘虎

No. 5 1 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成29年 夏季号



明治杯全日本選抜 (6,18代々木)

©日本レスリング協会

松本篤史グレコで再び世界へ！

世界レスリング選手権大会

8月21～26日、フランスのアカーホテルズアリーナ（パリ）において、「世界レスリング選手権大会」が行われた。グレコローマンスタイル転向後、国体、天皇杯を制し、アジア選手権でも銀メダルを獲得している松本篤史（千代田jr-館高-日体大-ALSOK-警視庁警察学校）は、6月の全日本選抜、準決勝で不覚を取ったが、プレーオフを制し、グレコローマン（85kg級）で再び世界のマットに立つことになった。フリーで3度出場している松本は、「雰囲気には飲まれることはなかった」と、初戦となる2回戦、パリシ・ファビオ（イタリア）に見事快勝。3回戦では、イスラム・アバソフ（アゼルバイジャン）に勝負どころでうまく捌かれ、惜敗。しかし、今秋警察学校を卒業し、十分練習できる環境になれば、松本のグレコテクニックは、格段にアップするのではないか。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第51回

前橋西高校



時には鬼のように、時には兄のように、そして時には無二のライバルのような存在である、私たち部員みんなが慕う顧問の増谷先生のもと、総勢12名のレスリング部員は、常に高い意識を持ち、日々の練習に励んでいます。週末の練習には、多くの先輩方が駆けつけ、アドバイスト、これでもかというスパarringsの嵐を頂いています。そのおかげで、入部当初は筋力もなければ、タックルすらままならなかった私たちが、関東大会や全国大会を経験することができました。また、合宿では朝から買出しをして、50名近くの食事作りや、朝早くから遠くまで送迎していただくなど、陰で私たちを支えてくださる保護者の皆様とも一体となって目標に向かっていきます。私たちは何事にも耐え、常に我慢強く、心身を鍛えるという、前橋西高校の校訓の一つでもある、「堅忍剛健」を実践していきたいと思えます。また、少数精鋭である仲間たちと共に、楽しく節度ある充実した日々を送ることで感謝の気持ちを表し、先輩達が築いた前橋西高校レスリング部の良き伝統を受け継ぎながら、新たな歴史を築いていきたいと思えます。

鬼のような兄のような！
増谷先生についていく！

3年 主将 安齊 勇馬

SCHEDULE

- 館林市民秋季大会
9月2日(土)
館林市城沼総合体育館
- 全日本女子オープンレスリング選手権大会
9月23日(土)・24日(日)
三島市民体育館
- 国民体育大会
10月7日(土)～10日(火)
宇和島市総合体育館
- 県民総体・高校新人戦群馬県小学生総体
11月5日(日)
館林市城沼総合体育館
- 上武洋次郎杯少年少女レスリング大会
11月19日(日)
邑楽町民体育館

第4回内閣総理大臣杯 全日本女子レスリング選手権大会



桶澤 和広さん(館林市・58歳)

レスラーの心
「思い出の一片」

□この写真は昭和53年、私が早稲田大学1年の時、場所は覚えていませんが、全日本大学選手権大会での一枚です。私は左から2番目、中心でメダルを掲げて座っているのが、早大のエース・のちのロサンゼルス・ソウル五輪銀メダリストの太田章先輩です。私は館林高校に入部し、先輩に半強制的に道場に連れて行かれ、サインをさせられレスリング部に入部しました。高校時代は、インターハイ、国体で準優勝でき、早大に入れたのですから、それが良かったのだと考えます。早大では、同期は私一人しかいなく、一年間、一人で道場掃除をしていました。レスリングはつらく、厳しいことばかりだと思いますが、それは「心と体」を鍛えるためです。私の次男「空」(小5)が館林ジュニアで頑張っていますが、レスリングを通して仲間と共に、心と体を鍛えてほしいと思えます。

文武両道の木村智洋 (館高) 第3位!

山形インターハイ

7月30日～8月2日、山形県上市三友エンジニア体育文化センターにおいて「全国高校総体レスリング競技会」が行われた。群馬勢が次々と敗退していく中、学業成績でも学年トップの木村智洋が、意地の準決勝進出。準決勝では力尽きたが、激戦区での第3位は、価値ある「銅」。



大舞台での激戦を制し準決勝まで勝ち進んだ木村智洋

鈴木芽衣と若林慶悟! 東洋大2選手が活躍! 東日本学生春季新人戦

6月21～22日、駒沢公園体育館において「東日本学生レスリング春季新人戦」が行われた。大学1・2年で争われる大会で、男子では若林慶悟が県勢唯一、入賞を果たし、女子では鈴木芽衣が優勝した。

- 【フリースタイルA】◆15kg級 ③若林慶悟(東洋大)
- 【女子】◆69kg級 ①鈴木芽衣(東洋大)

OSA2選手第2位! 清水星那2年連続銅! 全国中学生選手権

6月10～11日、水戸市民体育館において「第43回全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年度第3位に入賞しているOSA2選手・石井亜海と城所拓馬は、両者とも期待どおり決勝進出。先に登場した城所は、大阪府の選手に完敗。優勝は来年に持ち越された。続いて登場し

- 【小学生】①明和クラブ ②大間々クラブ ③OSA
- 【中学生】①千代田ジュニア ②邑楽ジュニア ③赤羽ジュニア



ラスト1秒のV逃しの悔しさは最大の教訓!

た石井は、同じく大阪府の選手と対戦。210秒でリードしていたが、ラスト1秒にバックに回られ悔しい第2位となった。清水星那は、2年連続第3位入賞を果たした。

グレコで菅原が準V! 女子は坂本が第3位! 関東高校レスリング大会

6月3～4日、足利市民体育館において「第63回関東高校レスリング選手権大会」が行われた。グレコで菅原未貴が唯一、決勝へ進出。惜



決勝で戦う勅使川原は、あと1点でVだった

- 【女子】◆48kg級 ③清水星那(邑楽) ◆57kg級 ②石井亜海(OSA)
- 【小学4年】◆42kg級 ②松井礼士(OSA) ◆45kg級 ③阿部裕斗(千代田)
 - 【小学5年】◆55kg級 ③西原丈陽(明和) ◆60kg級 ③小山和哉(邑楽)

八田イズムを継承だ! 富岡市で貴重な体験! レスリングクリニック

7月27日、富岡実業高校において「八田忠朗レスリングクリニック」が開催された。八田先生は、日本レスリングの父・八田一朗氏の御子息。元米國チームコーチでもある。



毎夏「来日」し日本各地で指導。今年は富岡!

集まった子どもたちは、そのレジエントの偉大さまでは、わからないものの、熱く語る八田さんの言葉に、何かを感じ取ったような、そんな貴重な体験をしたのではないか。

HERO'S IN GUNMA

全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会
第64回 全国高等学校レスリング選手権大会



木村 智洋 選手 (館林高校)

今回が最後のインターハイなので、悔いの残らないように頑張ろう、そんな気持ちで臨みましたが、そこで負けてしまい、第3位という結果に終わりましたが、今までやってきた努力は報われたと思います。これからの目標は、国体で優勝することです。インターハイで見つけた課題を、一つでも多く克服していきたいと思います。

珍記録!?明和と千代田 優勝と最下位味わう! 群馬県スポーツ少年団大会

8月6日、千代田町総合体育館において「第53回群馬県スポーツ少年団レスリング競技会」が行われた。小学生の部では、明和が優勝、千代田が最下位、逆に中学生の部では、千代田が優勝、明和が最下位という、珍しい結果

勅使川原1P差V逸! 斉藤と緒方が第3位! 全日本学生選手権

8月28～31日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。6月の全日本選抜第2位・勅使川原延明(前西1日体大)は、準決勝までは怒涛の快進撃。しかし決勝では、互いにパツパツのポイントのみで112の惜敗。優勝は来年に持ち越された。

松井が4年連続決勝! 県勢4クラブメダル! 全国少年少女大会

7月21～23日、北九州市立総合体育館において「第34回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。4年連続で決勝に進んだ松井礼士は、昨年に続き銀メダル。しかし、試合に臨む態度に成長の跡が見られた。

- 【フリー】◆86kg級 ③緒方竜成(日体大)
 - 【グレコローマン】◆75kg級 ③斉藤隼佑(早稲田大) ◆80kg級 ②勅使川原延明(日体大)
 - 【女子】◆69kg級 ③鈴木芽衣(東洋大)
- 【小学3年】◆39kg級 ③今井善(千代田)

なでしこGUNMAのレスクイーン



富岡実業高校
見目 天音さん(1年)

部活動見学のときに、レスリング部を見学して、とても楽しそうだったので入部しました。レスリングを始めてから、身体能力が上がりました。練習で教えてもらった技や動きができるようになったとき、とても楽しいと感じますが、スパリング後の補強練習がとても苦しいです。尊敬しているレスラーは、毎日私たちに指導してくださる清水真理子先生です。ライバルは、自分自身です。これからの目標は、一つでも多く技を覚えることです。将来の夢は、畜産業です。